



健康にアイデアを

meiji

Meiji Seika ファルマ株式会社

NEWS RELEASE

報道関係各位

2026年4月28日

K Mバイオロジクスと Serum Institute of India の技術提携に関するお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永里 敏秋）は、Meiji Seika ファルマ傘下のK Mバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：高橋 洋匡）が世界最大級のワクチンメーカーである Serum Institute of India Private Limited（本社：インド・プネ、CEO：Adar C. Poonawalla、以下「SII」）と日本脳炎ワクチンの開発・製造に関する技術提携を行い、最初のマイルストーンを達成したことをお知らせいたします。

本件は、K Mバイオロジクスと SII が締結した日本脳炎ワクチンの開発・製造に関する技術提携契約に基づき実施されたものです。今回のマイルストーン達成により、SII はK Mバイオロジクスが製造販売している日本脳炎ワクチンについて、インド国内での開発を開始します。今後は、両社連携しながら、SII による開発および製造・供給に向けた取り組みを推進していく予定です。

日本脳炎は、アジアを中心に依然として公衆衛生上の重要課題となっている感染症であり、特にインドでは国家予防接種プログラムのもとで大量かつ安定的なワクチン供給が求められています。

Meiji Seika ファルマとK Mバイオロジクスは、これまでワクチンの研究開発および製造を通じて培ってきた技術と品質管理の知見を活かし、グローバルな感染症対策に貢献することを重要な使命としてきました。世界最大級のワクチン製造能力を有する SII との協業により、インドにおける日本脳炎ワクチンの安定供給体制の構築と公衆衛生向上への貢献が期待されます。

Meiji Seika ファルマは、グローバルサウスを中心とした地域における事業拡大を進めています。今回の SII との取り組みを今後の事業展開における重要な基盤とし、アジアを中心とした販売チャネルの強みを最大限に活かすことで、世界の公衆衛生の向上に貢献してまいります。

以上

【Serum Institute of India Private Limited について】

Serum Institute of India Pvt. Ltd.は、ワクチン製造におけるグローバルリーダーであり、世界中に手頃な価格のワクチンを提供することに取り組んでいます。米国、英国、ヨーロッパを含む170カ国以上で事業を展開するSIIは、世界最大のワクチンメーカーとしての地位を確立しています。SIIの生産施設は、年間40億回分のワクチン生産能力を誇り、これまでに3,000万人以上の命を救ってきました。1966年に設立されたSIIの主な使命は、命を救う免疫生物学的製剤を製造することであり、特に手頃な価格とアクセスしやすさを重視しています。グローバルヘルスの向上への強いコミットメントに基づき、SIIはポリオ、狂犬病、ジフテリア、破傷風、百日咳、Hib、BCG、組換えB型肝炎ワクチン、麻疹、おたふく風邪、風疹などの必須ワクチンの価格引き下げに重要な役割を果たしてきました。特筆すべきは、SIIが世界で最も手頃な価格の肺炎球菌結合型ワクチン（PCV）である「ニューモシル」と、インド初の国産4価HPVワクチンを製造していることです。さらに、SIIはCOVID-19との世界的な闘いの最前線に立ち、世界中で20億回分以上のCOVID-19ワクチンを供給してきました。グローバルな事業展開をさらに拡大し、ワクチンの普及を確実にするため、SIIは英国に子会社であるSerum Life Sciences Ltdを設立しました。絶え間ないイノベーションの追求を通じて、SIIは手頃な価格のワクチンの普及を推進し続け、世界中の何百万人もの人々の生活に良い影響を与えています。

詳細については、Webサイトをご覧ください。<https://www.seruminstitute.com/index.php>

本件に関するお問い合わせ

Meiji Seika ファルマ株式会社

広報・渉外部 広報グループ

電話：03-3273-5614